

<信頼される市立病院の運営>

令和5年度 病院事業予算（案）の概要

[収益的収支]

(単位:千円)

	令和4年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
病院事業全体			
収益	36,230,541	38,322,229	2,091,688
費用	37,148,697	39,742,563	2,593,866
純損益	▲ 918,156	▲ 1,420,334	▲ 502,178
川崎病院			
収益	23,460,973	25,027,737	1,566,764
費用	23,419,903	25,949,662	2,529,759
純損益	41,070	▲ 921,925	▲ 962,995
井田病院			
収益	10,727,630	11,242,260	514,630
費用	12,047,101	12,503,738	456,637
純損益	▲ 1,319,471	▲ 1,261,478	57,993
多摩病院			
収益	2,041,938	2,052,232	10,294
費用	1,681,693	1,289,163	▲ 392,530
純損益	360,245	763,069	402,824

※多摩病院については本市側収支。収益に診療収益は含まない。費用に病院職員の給与費、材料費は含まない。

○主な増減の内訳

収益

(単位:千円)

	4年度予算額	5年度予算額	比較	主な増減理由
診療収益	26,416,752	28,967,639	2,550,887	入院・外来収益の増
その他医業収益	3,438,010	3,458,000	19,990	室料差額収益の増等

診療収益の内訳(再掲)

(単位:千円)

	令和4年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
川崎病院	18,426,744	20,248,234	1,821,490
入院	13,760,893	14,748,977	988,084
外来	4,665,851	5,499,257	833,406
井田病院	7,990,008	8,719,405	729,397
入院	5,075,112	5,834,270	759,158
外来	2,914,896	2,885,135	▲ 29,761

費用

(単位:千円)

	4年度予算額	5年度予算額	比較	主な増減理由
給与費	17,102,322	17,778,223	675,901	給料、手当等の増
材料費	7,806,956	8,843,504	1,036,548	薬品費等の増
経費	7,875,348	9,184,560	1,309,212	光熱水費、委託料等の増
減価償却費	3,123,399	2,758,635	▲ 364,764	建物減価償却費の減等

[資本的収支]

(単位:千円)

	令和4年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
病院事業全体			
収入	3,585,973	8,043,560	4,457,587
支出	5,452,852	10,439,335	4,986,483
差引	▲ 1,866,879	▲ 2,395,775	▲ 528,896
川崎病院			
収入	2,137,268	6,378,944	4,241,676
支出	3,266,694	7,747,820	4,481,126
差引	▲ 1,129,426	▲ 1,368,876	▲ 239,450
井田病院			
収入	650,989	581,727	▲ 69,262
支出	1,026,550	1,244,462	217,912
差引	▲ 375,561	▲ 662,735	▲ 287,174
多摩病院			
収入	797,716	1,082,889	285,173
支出	1,159,608	1,447,053	287,445
差引	▲ 361,892	▲ 364,164	▲ 2,272

※ 資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。

○主な増減の内訳

資本的収入

(単位:千円)

	4年度予算額	5年度予算額	比較	主な増減理由
企業債	1,510,200	5,910,500	4,400,300	病院事業債の増
他会計負担金	2,075,767	2,133,054	57,287	他会計負担金の増

資本的支出

(単位:千円)

	4年度予算額	5年度予算額	比較	主な増減理由
病院整備事業費	267,846	3,956,375	3,688,529	資産購入費の増
改良費	812,398	1,160,941	348,543	工事請負費の増
医療器械整備費	501,769	801,327	299,558	医療器械整備費の増

(単位:千円)

[収支状況]

(単位:千円)

	令和4年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
経常損益	▲ 1,645,129	▲ 1,598,418	46,711
純損益(再掲)	▲ 918,156	▲ 1,420,334	▲ 502,178
資金収支	▲ 1,214,989	▲ 2,255,696	▲ 1,040,707

[一般会計繰入金]

(単位:千円)

	令和4年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
収益的収入	5,884,230	5,826,720	▲ 57,510
資本的収入	2,075,767	2,133,054	57,287
計	7,959,997	7,959,774	▲ 223

※令和5年度 川崎市予算案について（案）病院局部分抜粋

病院局

<予算額> 問合せ先:経営企画室 200-3855 内) 70520

50,181,898千円 (対前年度比: +17.8%)

<主な事業>

信頼される市立病院の運営

医療の質の向上と体制の整備 256,334千円

○時代の要請に応じて、ポストコロナ時代の感染症対策、働き方改革と効率的医療の実現、持続可能な社会を志向した医業実践に取り組みます。

経営健全化の推進 297,398千円

○市立3病院では、「川崎市立病院経営計画2022-2023」に基づき、「医療機能の充実・強化」、「地域完結型医療の推進」、「地域・社会への貢献」、「強い経営体質への転換」を図ります。



川崎病院の運営 17,704,591千円

○高度・特殊・救急医療を中心に、周産期・小児・精神科救急に対応します。また、消防局と連携してプレホスピタル活動に取り組みます。

○地域がん診療連携拠点病院として、五大（胃、大腸、肝、乳、肺）がんの他、血液、脳、泌尿器、婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科領域など広範な領域のがん診療に取り組みます。

○第二種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症など新興感染症の対応、また、エイズ診療拠点病院としての役割を果たします。

○災害拠点病院、難病指定医療機関、認知症疾患医療センターとしての役割を果たします。

○より高精度な画像撮影が可能な磁気共鳴断層撮影装置の導入を行うなど、地域医療水準の向上に取り組みます。

○外国人対応医療体制の充実に取り組みます。

○川崎病院医療機能再編整備について、令和2年度に着手したエネルギー棟などの建築工事が完了し、8月以降運用を開始します。また、救命救急センター棟建築工事及び既存棟改修工事に着手します。



川崎病院



川崎病院
救命救急センター棟 (完成イメージ)

井田病院の運営

5,160,641千円

○地域がん診療連携拠点病院として、消化器がん、肺がん、乳がん等の精密ながん検診から、手術・化学・放射線治療、リハビリ、終末期の在宅緩和ケアまでトータルながん診療に取り組みます。

○X線透視下で検査や治療を行う血管造影X線診断装置（アンギオ装置）を更新します。放射線診断科、循環器内科、血管外科での診断・治療の精度の向上に取り組みます。

○新型コロナウイルス感染症対応のみならず、市内唯一の結核病棟を持つ病院としての役割を果たします。



井田病院

○地域医療機関との連携による機能分化を推進するとともに、地域包括ケア病棟の活用によるリハビリテーション機能の充実、地域の在宅療養患者の緊急時の受入れなど、在宅復帰・在宅療養支援の充実に向けて取り組みます。

○省エネルギー改修にかかる経費を光熱水費の削減分で賄うESCO事業による院内照明のLED化を実施し、環境負荷の軽減及び光熱水費の経費節減に取り組みます。



多摩病院の運営管理 1,072,105千円

(指定管理者: 学校法人聖マリアンナ医科大学)

○北部医療圏での二次救急医療の拠点として、小児医療を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療などを提供します。

○災害拠点病院としての役割を担うとともに、地域医療支援病院として医療機器の共同利用や地域の医療従事者を対象とした研修の実施、「登録紹介医の会」を開催するなど、地域のかかりつけ医との連携強化を進めることで、地域全体の医療提供体制の向上を図ります。また、緩和ケア病棟では看取りだけではなく急性期から外来・在宅への移行支援を行うことで、地域における完結型医療提供体制の構築に取り組みます。

○施設・設備の老朽化に対し、長寿命化に向けた維持補修を実施します。



多摩病院